



白馬商工会 会長の 丸山 敏夫さん

今回は問題点がいくつかあって、ひとつは手法の問題。事前説明なしに、いきなり「ここだ」と決めてきた。結論が早すぎた。建て替えが迫っている大町の動きでバタバタと新しいものに飛びつくのは、いかがなものか。その前に、ごみの減量化やランニングコストの問題、将来の人口減など検討課題があると思う。白馬で出したごみを、白馬で処理するのは当然のこと。現在の白馬の施設の寿命がきた段階では、広域で作らなければいけないと思う。



貞隣寺の住職の 海野 喜充さん

私は貞隣寺の住職です。この寺は曹洞宗のお寺です。

曹洞宗では「グリーンプラン」という考えを進め、皆さんにお話しています。「環境全般の問題を考え地球を護る」「自然との共生」という考えです。今回のゴミの問題は白馬だけでなく大北地域全体の問題として捉え（世の中の主流「ゴミの減量化」に向かって）努力をしておかねばなりません。今回の大規模ゴミ焼却場の建設についてはこの考えに逆行しており、もっと熟考した計画でなければならぬと思います。今一度今回の計画を再考すべきだと思います。

カンパのお願い

活動資金のカンパを募っています！
ご協力お願い致します。



八十二銀行 白馬支店
普通口座 137464
名義：ハクバゴミモンダイカンパ

活動に賛同していただける企業・団体・個人の方は是非ご連絡ください。

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会

白馬村北城八方口5897-1(たきみや) 会長：宮田温巳

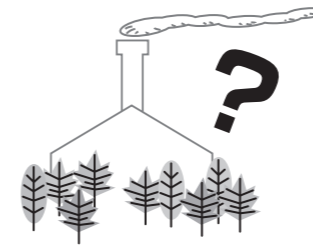
<事務局>

TEL 0261-72-2527
FAX 0261-72-4344
(藤田) 090-3847-1111

白馬新ごみ処理施設を考える 連絡協議会ニュース

2007.07.01 発行 vol.5

<http://www.hakuba-kaeru.com/>



現在の白馬山麓の施設は
H32年まで使用可能とする
広域議会での答弁がある。
(H16.11.16 議事録より)
他、H14年度には20カ年の
整備計画が発表されている

安全と健康と生活

白馬の“自然”と“澄んだ空気”を守るため
一度、立ち止まって“ゆっくり”考えよう！
まだ時間はあります。

大町と共同の施設を作るということは
現在の施設の
「2.7倍のゴミを燃やすこと」になる。

平成32年まで

ゴミの減量化・リサイクル化を

行政・村民・企業と一緒に進め

少なくなったゴミに合わせた

施設を考えよう！

後13年。
しっかりした
計画を作ろう！

そのための
白紙撤回
です！

60t/日
60億円

20t/日
8億4460万円

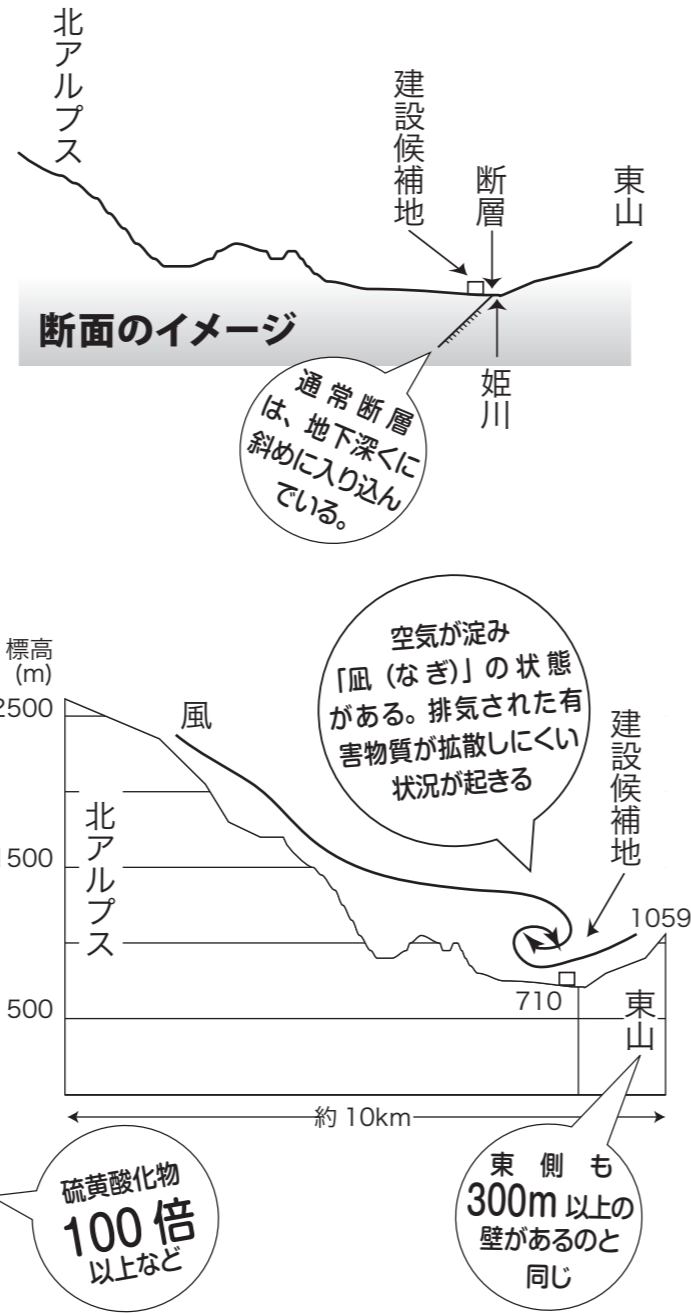
埼玉県大井町（現：ふじみ野市／当時の人口：4万6000人）では、平成7年に60t/日の焼却炉を60-70億円で計画。しかし、市民・議員・専門家を含めた新炉建設検討委員会を作り検討を重ねた結果、ゴミの減量化・資源化を進めることとし、1日8時間稼働で20tを焼却する能力のある炉を、平成8年度に8億4460万円で建設した。**50億円以上のコストダウン！**

①なぜ?活断層の近くに…

～村民の安全が確保されない

“飯森地区”は位置が不確かな活断層のすぐ傍です。

活断層とは、一本のラインでなく断層群・断層帯となっていることが多く「神城断層」は、日本でも第1級の「糸魚川 - 静岡構造線」に付随した活断層であることは間違えなく、「活断層群」の一つと見るべきです。地図上で示された活断層を示す「線」(それも不確か)から**50m離れたから安全だとする主張のは、地質に対して全くの無知で、ナンセンスです。**(信州大学副学長・小坂共栄教授のコメント/構造地質学)



②狭い盆地での排気ガスは…

～白馬の空気が汚染される

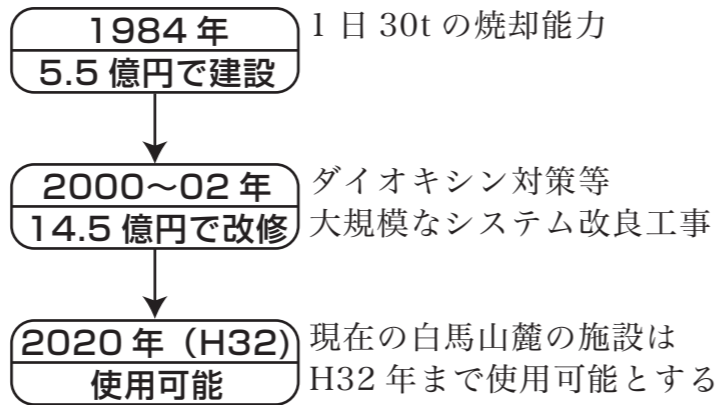
現在まで、排ガスの影響についての検討が全く考慮されていません。広域連合は、「国の排ガス基準は、人体や環境への影響がないように定められた」と言っていますが、これは全くの間違いです。**排ガス基準は、煙突の出口の値として、ここまで許容できるという数値であって、地上での人体への影響を判断する基準ではありません。**煙突から排出された有害ガスが風などで薄められて、地上でどの程度の有害性があるかが問題です。山で囲まれた白馬村では、風が弱く薄められ難いので、呼吸器疾患、アトピー疾患、その他の健康被害や、土壌汚染による農産物への影響や希少動植物への影響が懸念されます。

③財政への圧迫…

～借金を重ねるの?

既設の焼却設備はまだ起債償還(借金返済)が**終わっていません**。まだ13年程度使用できるのに、新しく作りかえるのは税金の無駄使いです。ゴミを減量化させ最低限の施設にし、建設費を抑えることが必要ではないでしょうか?

●白馬山麓清掃センター



村の総借金は100億円

④景観と観光客への影響は?…

～「村ごと自然公園・白馬」にふさわしい?

白馬村は、「村ごと自然公園・白馬」と唱って観光客を誘致していますが、その心は村民憲章にも示されているとおりです。

・**県条例「景観育成重点地域」に指定されているが、全く考慮されていない。**

飯森地区のオリンピック道路際にある**中部電力の鉄塔の高さが34m**。この高さから建屋25m程度、煙突高さ50m程度を想像してください。村の中央部・入口に、大きな建造物が建つことは、白馬の自然景観を損なうと共に村のイメージを損なうことは明らかです。

⑤ごみの減量化をしよう!…

～もっと小さな施設は考えられないの

リサイクル率が県内の最下位グループである、白馬・大町・小谷。リサイクル率が高くなればごみの焼却量が少なくなり、焼却設備も小さくて済み、排ガス量も少なくなります。今、広域連合の焼却設備を作れば、**たとえ白馬のごみを減らしても大町からのごみを燃やすので、排ガス量はたいして減りません。**今の施設が使える間(後13年ほど)に行政と協力してごみの減量化に努め、その上でそれに見合ったごみ処理施設を検討すべきと考えます。

⑥手続きの不適切…

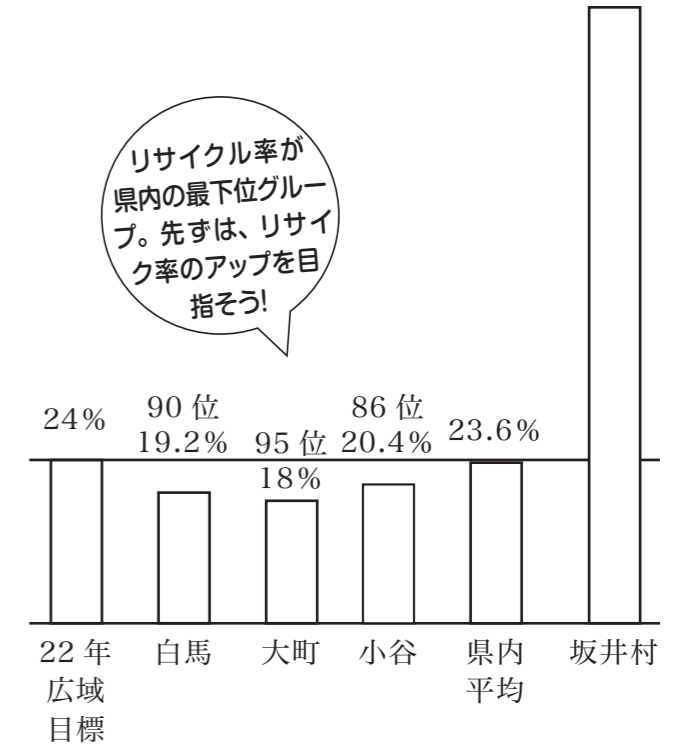
～議事録や情報公開資料で明らかに

(1)「ごみ処理広域化基本計画」を策定した「ごみ処理広域化基本計画**検討委員会**」は、学識経験者や住民代表を含む委員で構成されており、この報告書に付属する提言書では、特に重視すべき施策として「**建設地の選定作業にあたっては透明性が重要であることから、選定経過を含めて公表し、住民の理解を得ながら実施されたい**」と提言しています。しかし、具体的な用地選定は、住民・学識経験者は勿論広域連合議会議員も参加

●ゴミのリサイクル率

(長野県内 H16年度)

1位
90.5%



↓させず、行政の関係者のみで構成する「ごみ処理施設用地選定委員会」にて非公開で行われ、絞り込み状況は広域連合議会議員にも知らせず、ご承知のとおり最終決定してから公表しています。

このことについて、上記**検討委員会**の**委員長である松岡英子信州大学教授も、大変遺憾であるとのコメント**を寄せています。

主要な問題点をいくつかご紹介しましたが、これ以外にも多くの問題点があります。



計画を白紙撤回した上で、行政と協力し合っごみの減量化を検討・実施し、その結果を踏まえて、ごみ処理施設を検討することを提案いたします。